



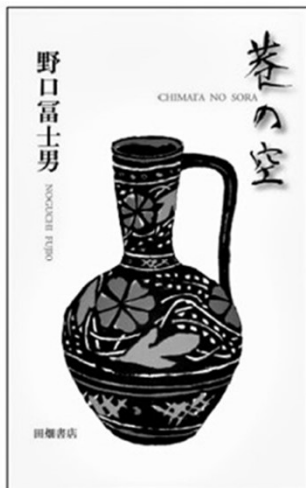
7月2日 全国発売

78年の眠りから目覚めた瑞々しい筆致  
野口富士男の幻の長編小説『巷(ちまた)の空』

新書判 仮フランス装 重さ324g 472ページ 価格 2,530円税込

戦争中〈不要不急〉として紙が配給されずにお蔵入り。戦後、ゲラが1/3まで出たところで出版社が倒産してまたお蔵入り。数々の因縁があり、78年の時を経てこの7月、野口富士男の新刊長編小説として刊行されました。

明治も終りに近い頃、江戸川橋の鰻屋に生まれながら、家業を嫌い靴職人となった主人公・伊之吉。独立して事業主となり、折り重なる浮き沈みに揉まれながら生き抜いて行く——関東大震災前の“古きよき東京”を緻密に再現しながら、市井に生きる日本人の姿を丹念な心理描写をもって描く幻の傑作青春小説が、いま蘇る！



野口富士男関連 近刊・新刊

3月11日 小学館P+D BOOK「なぎの葉考／しあわせ」  
6月23日 中公文庫「海軍日記-最下級兵の記録」

6月3日 全国発売

八木義徳  
野口富士男  
往復書簡集

〈切磋琢磨〉という言葉がこれほどに相応しい関係があるだろうか—同じ時代を生き、ともに「私小説」を極めようと志したふたりの文士が、四十年以上にもわたって互いの作品を評し合い、生活のこもごもを語り合った奇蹟！



巷(ちまた)の空 書評掲載

9月 3日 東京人 10月号 評者：川本三郎

8月21日 東京新聞／中日新聞 評者：武藤康史(評論家)

8月 5日 週刊新潮 8月12・19日夏季特大号 評者：川本三郎

当時出版されていたら高く評価されていたはずで、その後の作者の人生は変わっていただろう。

東京新聞 8月11日

武藤康史

八木義徳 野口富士男 往復書簡集 書評掲載

8月28日 朝日新聞 評者：保坂正康

8月28日 図書新聞 評者：大木志門(東海大学教授)

8月 3日 東京人 9月号 評者：川本三郎

7月21日 日本経済新聞 私小説作家の父・野口富士男の生活：平井一麥インタビュー

7月17日 図書新聞 評者：荒川洋治 21年上半期読書アンケート

7月13日 読売新聞 『八木義徳 野口富士男 往復書簡集』刊行…44年間に439通

7月 3日 毎日新聞 評者：川本三郎『私小説一筋「相互批評」45年の奇蹟』

奇蹟の 毎日新聞 7月3日  
ような本である。川本三郎

日販・トーハン・楽天・八木書店・一冊！取引所・弊社直接にてご注文下さい

|     |                  |    |  |
|-----|------------------|----|--|
| 注文書 | 番線印              | 冊数 | ご担当者様：   |
|     |                  | 冊  | 野口 富士男 著 「巷の空」<br>新書判・仮フランス装 2,530円税込 ISBN 978-4-8038-0385-3 |
|     | FAX 03-3261-2263 | 冊  | 八木義徳 野口富士男 往復書簡集<br>A5判・上製 6,600円税込 ISBN 978-4-8038-0383-9   |